

福井大学協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（9月分）

留学先大学：タイ・アサンプション大学

氏名：板谷 月紀

サワディーカー！タイ・アサンプション大学に留学している板谷月紀です。今回はタイについて、また留学先のアサンプション大学についての簡単な紹介をさせていただきました。私のタイでの生活も、あつという間に二か月目を終えようとしています。今回は普段の寮生活について、そして二泊三日で行ったパタヤ旅行についても少しお話ししようと思います。

アサンプション大学の寮

私が今生活している寮は、アサンプション大学の敷地内にあります。棟は全部で三つあり、私の棟は13階建ての大きな建物です。外にはバスケットコートやスケートボードのパークなどもあり、夕方になると寮生たちがスポーツやお喋りをして過ごしています。アサンプションは敷地も建物も大きいので、校舎から寮まで15分歩き、8階までエレベーターで昇り、そして長い廊下の端にある部屋まで歩くのも億劫に感じてしまう今日この頃です…。



部屋は二人部屋で、私のルームメイトは日本人です。寮の部屋を決める時、せっかく留学に来たのだから外国人のルームメイトがいい！と意気込んでいたのですが、英語を話せない中国人留学生か日本人のどちらかを選ぶように言われて、今のルームメイトになりました。もちろん英語で話す機会が増えるのが理想的ですが、寮での生活というのは一番ストレスに繋がるものなので、「自分がリラックスできる」「話し合える」ということを第一に考えることをお勧めします。ちなみにルームメイトはとてもしっかりした子で、問題なく快適に共同生活ができています。二か月目ということでお互いに授業の疲れやストレスが溜まったりもしますが、そんな時は一緒にケンタッキーのデリバリーを頼んだり、他の日本人留学生とガールズトークをしたりして発散しています（笑）

食事

寮では料理はできません。また大学の敷地外に出るのが大変なので、ローカルな屋台料理もなかなか食べられません。学内のレストランや食堂に食べに行くか、私が一番重宝してい

るのはセブンイレブンです。どこでもだいたい 40 バーツ〜90 バーツ (120 円〜300 円) くらいで食事ができます。やはりタイの商品が圧倒的に多いですが日本のものも結構売っていて、とんかつ弁当やチキングリル弁当、豚塩弁当などがお気に入りのラインナップです。肉ばかりですね (笑) 実際のところ、タイ料理のメニューで野菜を取るのはいさし難しいので、足りてないなと思ったらサラダやリンゴなども買って食べます。もちろんタイ料理のカオマンガイやタイラーメンも美味しいですし、タイのフルーツは甘くて美味しい上に安いです。ちなみに、なぜかこちらに来てからヨーグルトが大好きになりました (笑)

その他の生活

水回りでは注意しなければならないことがいくつかあって、まず水道水は飲めません。うがいにはできますが、歯磨きや、コンタクトを触る前の手を洗う時などは、買って来た飲料水を使っています。またタイのトイレにはトイレットペーパーを流せないなので、ゴミ箱に捨てます。洗濯は、共同の洗濯スペースで一回に 40 バーツ (120 円ほど) かかります。週に一回ほど洗濯をし、上の写真のようにカーテンレースに干しています。ですがこれではスペースが足りないで、ルームメイトがビニールひもで 3m も洗濯紐を編んでくれました。たくましいですね… (笑) お風呂はもちろんシャワーですが、日本のシャンプーや洗顔、化粧水など生活に必要なものは、よほど珍しくない限りほぼ現地で手に入ります。

パタヤ旅行

最後に、タイでそれぞれ違う大学に留学している、国際地域学部の土田さん、井口君と行った二泊三日のパタヤ旅行について少しだけご紹介します。パタヤは、バンコクの南にある観光都市です。ビーチで有名ですが、近年は観光客が増え汚染が進んでいるため、少しだけ足を延ばしてラン島という島に遊びに行ってきました！ラン島には綺麗なビーチがいくつもあり、マリンスポーツを楽しむことができます。私たち



はバナナボートに乗りましたが、これは確実に旅行の一番の思い出になりました。パラグライダーなどもあり、日本よりも安く楽しめるのでめちゃめちゃオススメです！

また、パタヤ内部にある金色のビッグブツダも見に行きました。道中はちょっとした山登りで、2日間、海に山にとビーサン・バックパックで歩き回ったのもいい思い出です (笑)

一番驚きなのが、交通費・食費・二泊の宿泊費・遊んだ費用すべて込みで 7000 円くらいだったこと！夏休みのなかった私たちにとっては本当に楽しい 3 日間でした。皆さんもタイに来たときはぜひ行ってみてくださいね。